



那須 英二 議員 日本共産党弥富市議団

問 子育て世代に選ばれるまちを

答 安心して子育てできるまちに

問 住みたい、住み続けたいと思える本市の魅力は。

答 企画部長 名古屋への好アクセスや産業拠点で安心して暮らせること。

問 人口増加につながっていない原因分析は。

答 総人口減少は、自然減である。

問 子育て世代へ選ばれるまちへの認識は。

答 健康福祉部長 安心して子育てできるまちづくりを進める。

問 公園整備の現状評価は。

答 建設部長 複合遊具は海部津島管内で一番設置数が多い。

問 若者定住のための魅力創出の考えは。

答 雇用創出と住宅支援で若者の定住促進を図る。

問 福祉センター等の今後の方向性は。

答 健康福祉部長 需要に合わせた機能を見直し、検討を考える。

問 公共施設の集約化、高機能化を念頭に、コストを抑えつつも魅力アップする考えは。

答 総務部長 「みなともまちなか交流館」をモデルケースに他の既存施設にも生かす。



▲イメージ画像

問 ワクワクする弥富ビジョンを

答 持続可能なまちづくりを推進

問 学校の跡地の活用計画は。

答 建設部長 地元地域と協議を重ね、方向性を検討する。

問 全天候型、全世代型の複合施設整備を検討しては。

答 総務部長 検討していない。

問 防災・浸水対策は、公共施設整備の最優先事項として考えるべきでは。

答 市の特性から浸水対策には限界があり、避難方法の周知啓発を行っている。

問 三ツ又池公園の芝桜の現状と今後の見通しは。

答 建設部長 植樹箇所の一部が成果に繋がらないことは把握しており、土壌改良や肥料の散布等を行っている。

問 立ち寄るまち、住みたくなるまちへの本市の戦略は。

答 市民生活部長 各種イベントを通して本市の魅力を情報発信。

問 10年、20年後の市長の目指す将来ビジョンは。

答 市長 “ひと”が主役となる便利で持続可能なまちづくりを推進していく。